



西川中だより

第119号
令和3年1月14日
西川町立西川中学校
校長 齊藤 晃子

共に生きる

3学期始業式式辞(抜粋)

校長 齊藤 晃子

明けましておめでとうございます。

令和3年、西暦2021年が開け、今日から令和2年度西川中学校第3学期が始まります。こうして元気に登校した皆さんと顔を合わせることができてたいへんうれしく思います。

しかしながら、年があけても新型コロナウイルスの感染拡大の状況は続いています。県内の感染者数も400名を越えました。感染拡大前の基準や価値観で行動しようとする「できないことばかり」です。令和3年は、新しい行動様式や新しい価値を創造していくことが求められる年だと思います。

SDGsという言葉を知っていますか。これは2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに「持続可能でよりよい世界を目指す国連目標」、Sustainable Development Goals のことで、略してSDGsと言われています。新聞等でロゴを目にしたことがある人も多いかと思いますが、SDGsには17の目標が設定されています。

- 1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

これらの目標を聞いて、自分には関係ない、自分たちの目標ではないと感じた人もいます。しかし、SDGsのキーワードは「誰一人取り残さない」です。自分達だけでなく、地球上のみんなにとっての問題であり、目標です。地球市民一人一人が、持続可能な、発展し続ける世界の実現のために自分には何ができるのかを考えるための目標なのです。

新型コロナウイルス感染症の問題を含めて、世界には、様々な問題が存在しています。誰か特別な人が、特別な方法で打開してくれるという人任せの考え方では、問題は解決できません。これまで当たり前と思ってきたことができなくなっている今こそ、持続可能な世界のために一人一人が何ができるのか、改めて考え、行動することが求められていると思います。中学生の皆さんにも、自分の生活の小さなことから、持続可能な世界のために何ができるのかしっかりと考えて行動する年にしてほしいと思います。何も特別なことでは、ありません。食べ物を粗末にしない、無駄な電気を使わない、一人一人が感染症対策をしっかりする、自分ができるボランティアを実行する…こんな1つ1つのことが持続可能な世界の実現への第1歩だと思います。「地球規模で考え、足元から行動する」、そんな考え方で、一人一人が小さな努力を続けることが、持続可能な世界の実現につながっていきます。西川中生が、自分や周りの人を幸せにする力を育てる3学期になることを祈念いたします。

生徒会執行部

～よろしくお願いします～



生徒会長	工藤 春香(2年)	事務局長	荒木 瑛奈(2年)	文化委員長	飯野 葵(2年)
生徒会副会長	古沢 颯汰(2年)	事務局長	飯田 陽大(2年)	広報委員長	庄司 怜那(2年)
生徒会副会長	佐藤 陽向(1年)	事務局長	佐藤 岳真(2年)	美化委員長	若月うらら(2年)
生徒会議長	太田 絢斗(2年)	事務局長	佐藤 寧音(2年)	健康委員長	奥山 凜音(2年)
生徒会副議長	鈴木 紅葉(2年)	事務局長	塩野 爽空(2年)	給食委員長	古澤 怜奈(2年)
		事務局長	阿部 友利(1年)		

12月25日から始まったリーダー研修会を通して、来年度の生徒会づくりに向けて準備を行っています。

学校評価 生徒アンケートの結果

令和2年：11月実施 数値は%（少数第1位を四捨五入） **太数字:最多回答** 下段（ ）は昨年同期の結果

1：よく当てはまる 2：やや当てはまる 3：あまり当てはまらない 4：全然当てはまらない

No	質問項目	1	2	3	4
①	授業中、わからないことを近くの人に訊いている。	56 (56)	32 (36)	11 (7)	1 (1)
②	授業中、一人よりグループで学習するほうがいい。	48 (39)	40 (39)	10 (17)	2 (5)
③	理由や根拠を添えて話し合いや発表をしている。	33 (31)	44 (39)	20 (24)	2 (7)
④	難しい課題にもあきらめずに取り組んでいる。	47 (39)	41 (46)	12 (12)	1 (3)
⑤	毎日家庭学習を行っている。	70 (65)	23 (27)	6 (5)	2 (1)
⑥	学校に行くことが楽しい。	51 (51)	35 (37)	11 (12)	3 (1)
⑦	学校のきまりやマナーを守っている。	80 (71)	16 (25)	4 (3)	0 (0)
⑧	生徒会のいろいろな活動を、意欲的に行っている。	45 (47)	40 (42)	14 (10)	2 (2)
⑨	学級活動では、自分の役割に責任をもって積極的に取り組んでいる。	58 (64)	37 (30)	5 (6)	0 (1)
⑩	校舎や机・椅子などの公共物を大切に使っている。	85 (82)	11 (18)	4 (0)	0 (0)
⑪	毎日の清掃を真剣に行っている。	71 (56)	28 (39)	2 (5)	0 (1)
⑫	だれに対してもよくあいさつをしている。	69 (63)	28 (35)	4 (1)	1 (1)
⑬	友だちは、私にあいさつをしてくれる。	79 (80)	17 (16)	3 (3)	0 (0)
⑭	友だちは、私を認めてくれ、困ったときには助けてくれる。	73 (63)	24 (33)	2 (3)	0 (1)
⑮	体育祭や西川祭などの行事に自主的・積極的に取り組んでいる。	79 (75)	17 (21)	4 (3)	0 (0)
⑯	部活動には積極的に参加している。	87 (79)	12 (17)	1 (4)	0 (0)
⑰	地域の行事に積極的に参加している。	40 (36)	33 (37)	21 (21)	7 (6)
⑱	自分の将来の夢や目標を持っている。	43 (39)	30 (26)	26 (26)	2 (9)
⑲	自分の長所と短所を理解している。	48 (43)	34 (39)	17 (18)	2 (1)
⑳	先生や家族は私をほめてくれる。	46 (42)	42 (43)	11 (12)	0 (3)

新型コロナウイルス感染症拡大の中、様々な活動が厳しく制限されたりする中でも、前向きに協力し合っていることを精一杯やってきた西川中生の姿が見えてきました。保護者の皆様、地域の皆様のご支援に感謝申し上げます。

<生徒アンケートの結果から>

○規範意識・公德心

「⑦学校のきまりやマナーを守っている」「⑩公共物を大切に使っている」で昨年以上にとても高い評価が見られる。規範意識をもって、互いの権利を大切にしながら生活をしていると捉えられる。

○あいさつ

「⑫だれに対してもよくあいさつをしている」「⑬友だちは私にあいさつをしてくれる」で高い評価を維持している。生徒会重点活動としての継続的な取り組みによって、学校の良さ校風となっている。

○主体的な進路の選択

「⑱自分の将来の夢や目標を持っている」で評価が昨年よりも向上している。キャリア教育を通じて、生き方や進路に関して指導を充実させた成果と考えられる。今後とも指導に力を入れるようにしたい。

▽学習

「②一人よりグループで学習する方が良い」「③理由や根拠を添えて発表している」「④難しい課題にもあきらめずに取り組んでいる」で昨年に比べると改善が見られるが①で「3」と回答している生徒が多い。今後とも適切な学習課題を設定しての教科指導、グループでの学び合い、数学のITの取り組み、家庭学習の継続した取り組みと呼びかけを通して、学力の全体的向上を図っていきたい。